

第21回日本地域福祉学会

受賞

優秀実践賞

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会

顕彰の趣旨 全国の優れた実践を奨励し他の模範とし地域福祉の一層の発展と向上に寄与する



阪南市社協築野会長(左)と日本地域福祉学会永田会長(右)

住民主体の実践が高く評価されました

2024年6月に開催された日本地域福祉学会にて、阪南市社協の永年に亘る官民協働による地域福祉基盤の蓄積と先駆的開発実践などが高く評価され、優秀実践賞を受賞しました。

住民・当事者を主体にした実践姿勢が評価されたことは社協としての最大の喜びであり、引き続き皆様とともに阪南市の地域福祉の推進に邁進していきます。

4つの審査基準と対応する主な実践

1

先駆性
獨創性



小中学生が地域の担い手として活躍する子ども福祉委員活動



司法×福祉×地域の協働による少年院生の立ち直り支援実践

2

継続性
発展性



地域福祉推進計画を基軸に住民が牽引する官民協働の構築



校区福祉委員会等が市総合事業を活用した生活支援活動を展開

3

参加性
普及性



外国籍住民や子どもたちなどが参加する場を創る農福連携



漁福連携による共生の居場所づくりや協働での参加・就労支援

4

記録性



論文投稿や学会発表による実践の見える化と発信



お祝いのコメント

地域福祉の魅力は、民間発の自由で創造的な実践の中にあります。阪南市社協の素晴らしい点は、思いを持った市民が力を発揮する場をつくり、ともに数々の魅力的な実践を生み出してきたことです。地域福祉優秀実践賞のご受賞を心よりお祝い申し上げます。

日本地域福祉学会会長
同志社大学教授
永田 祐

阪南市社協への応援も
お待ちしております！
(ご寄付や賛助会員など)

